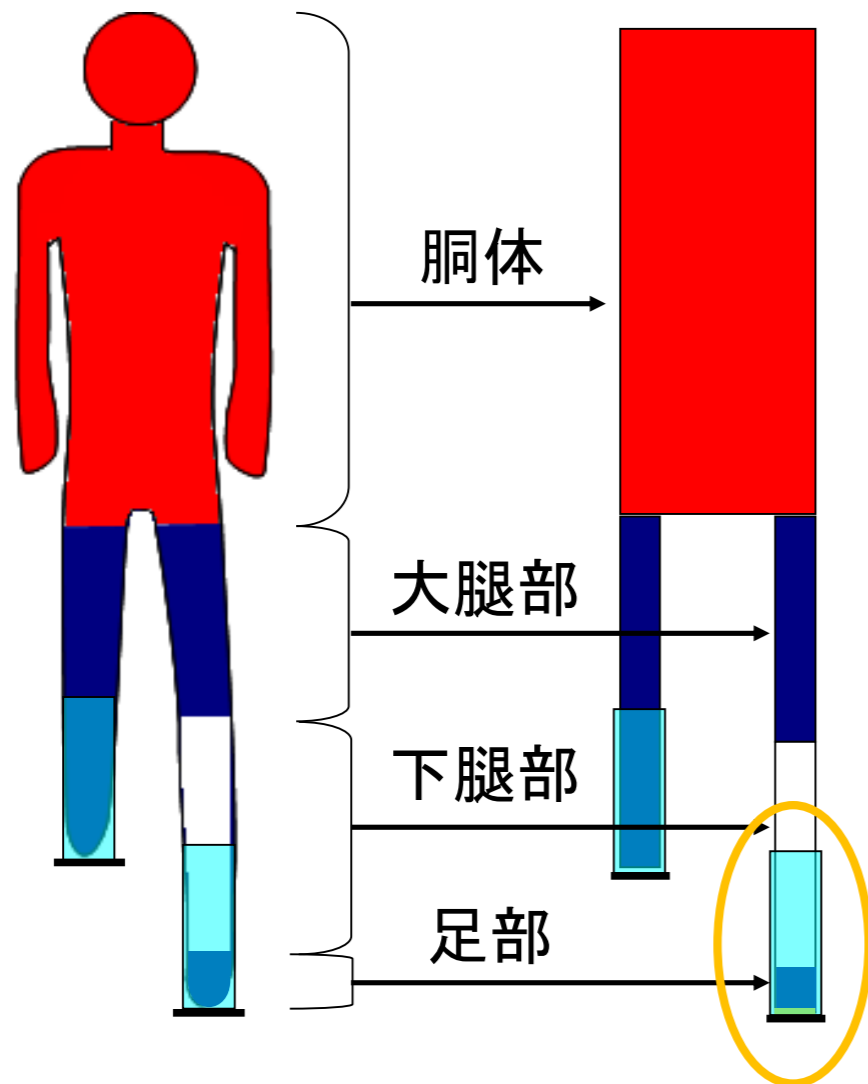
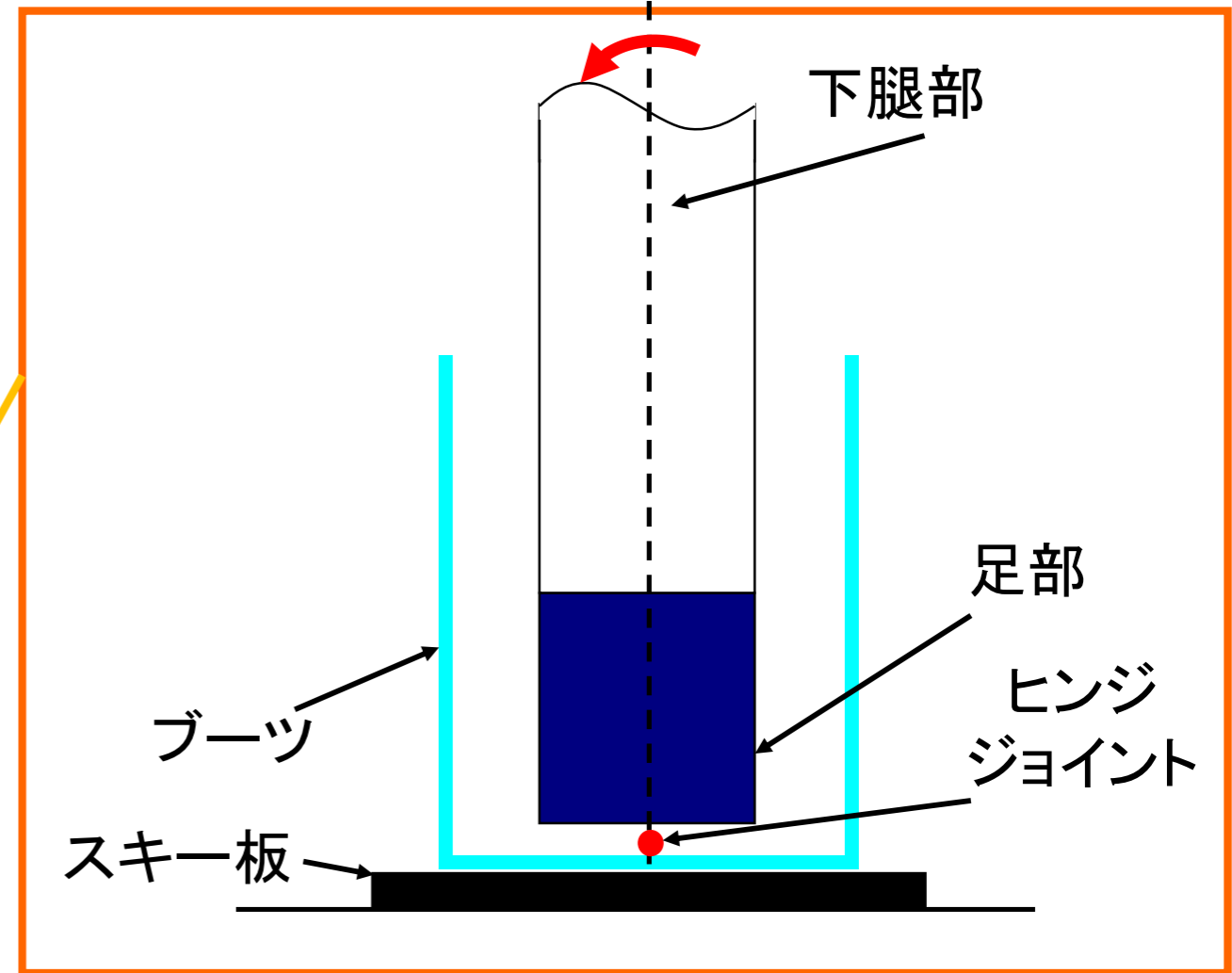

数値シミュレーションによる検討

シミュレーションモデル

日本人アスリートの身体寸法をモデルに適用



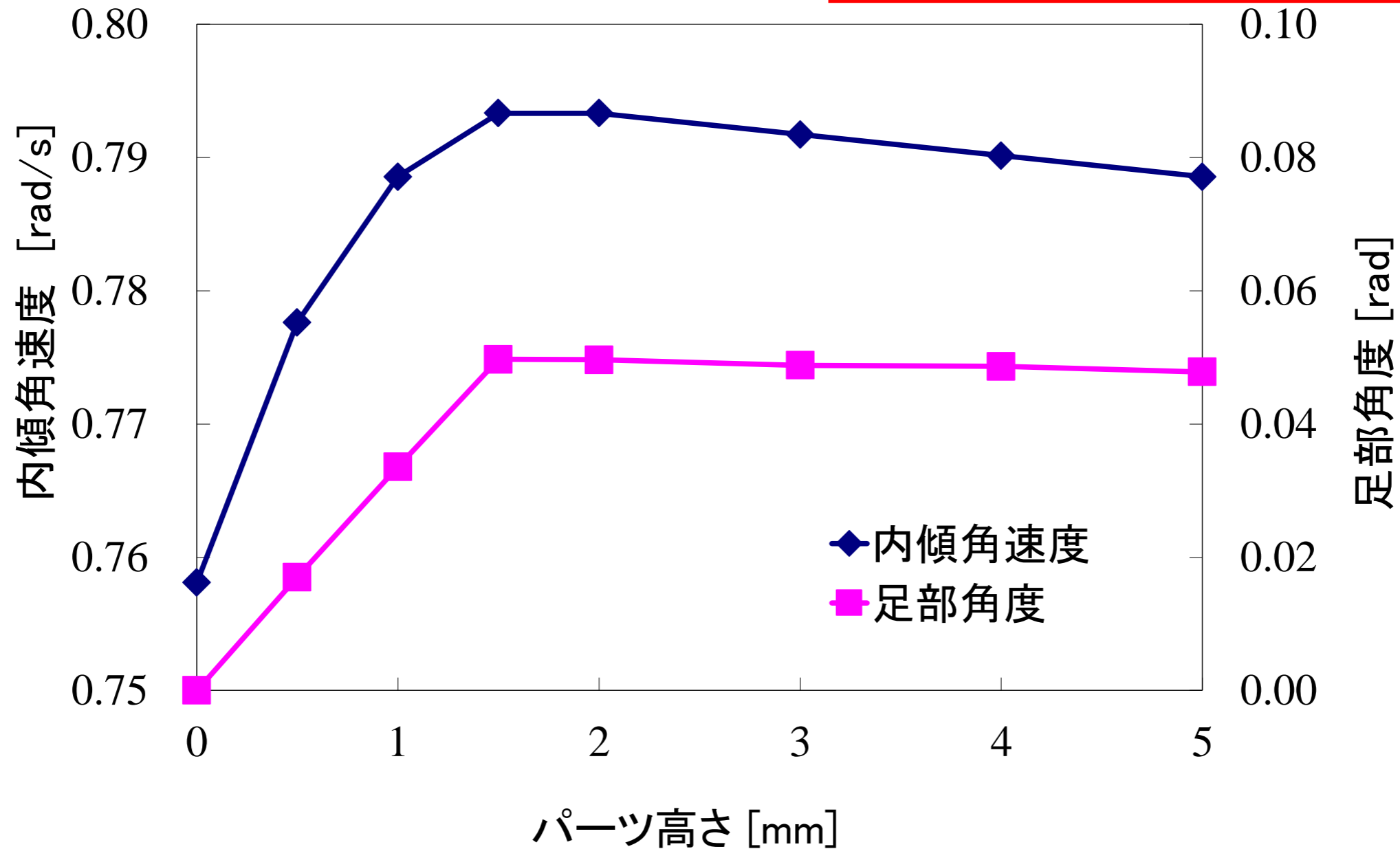
スキーヤー簡略化モデル



足部(右足)の拡大図

パーツ高さによる内傾角速度の違い

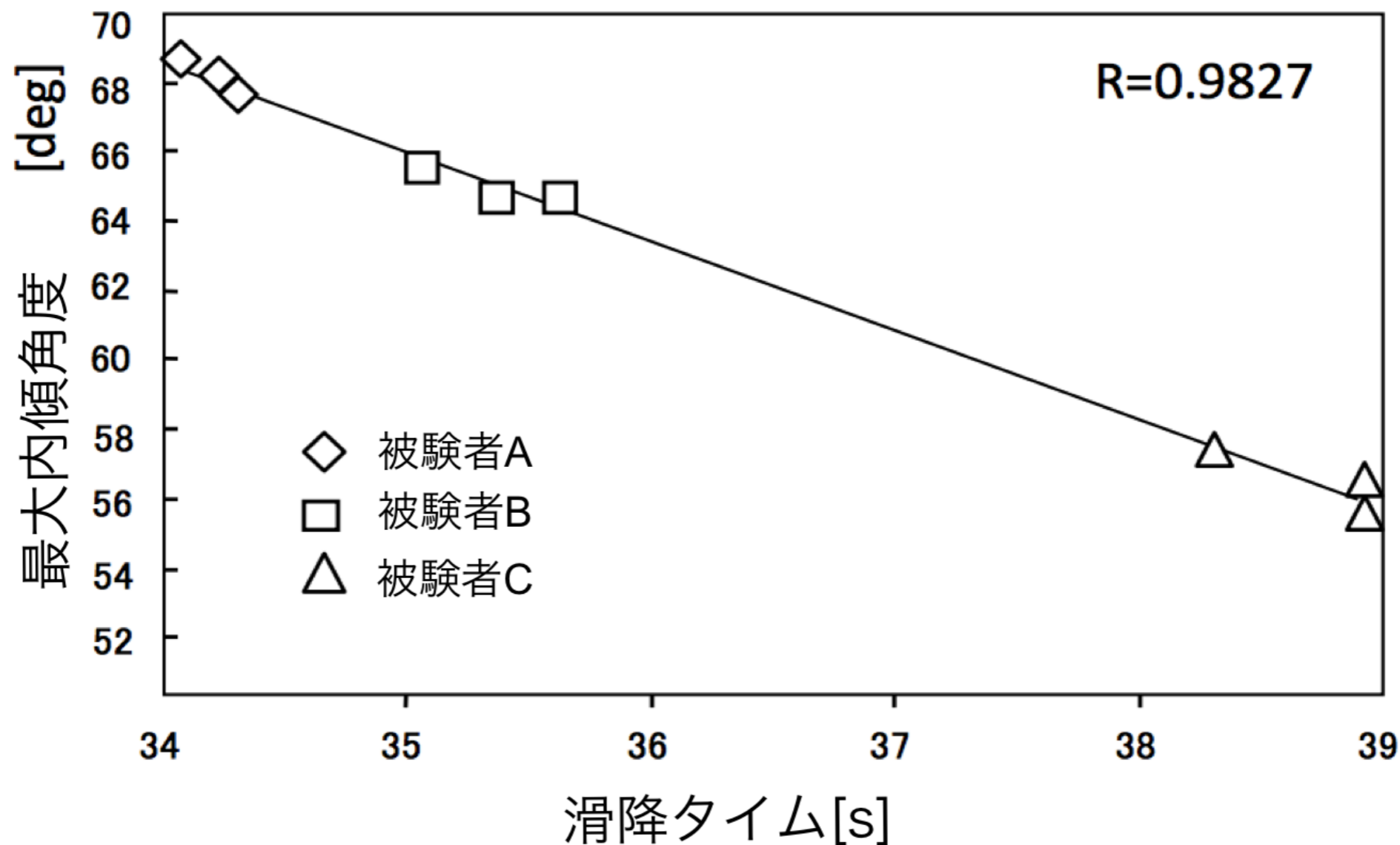
パーツがない場合と比較して
最大で約5%内傾角速度向上



ステルステックは内傾角速度向上に有効

フィールド実験による検討

内傾角度と滑降タイムの関係

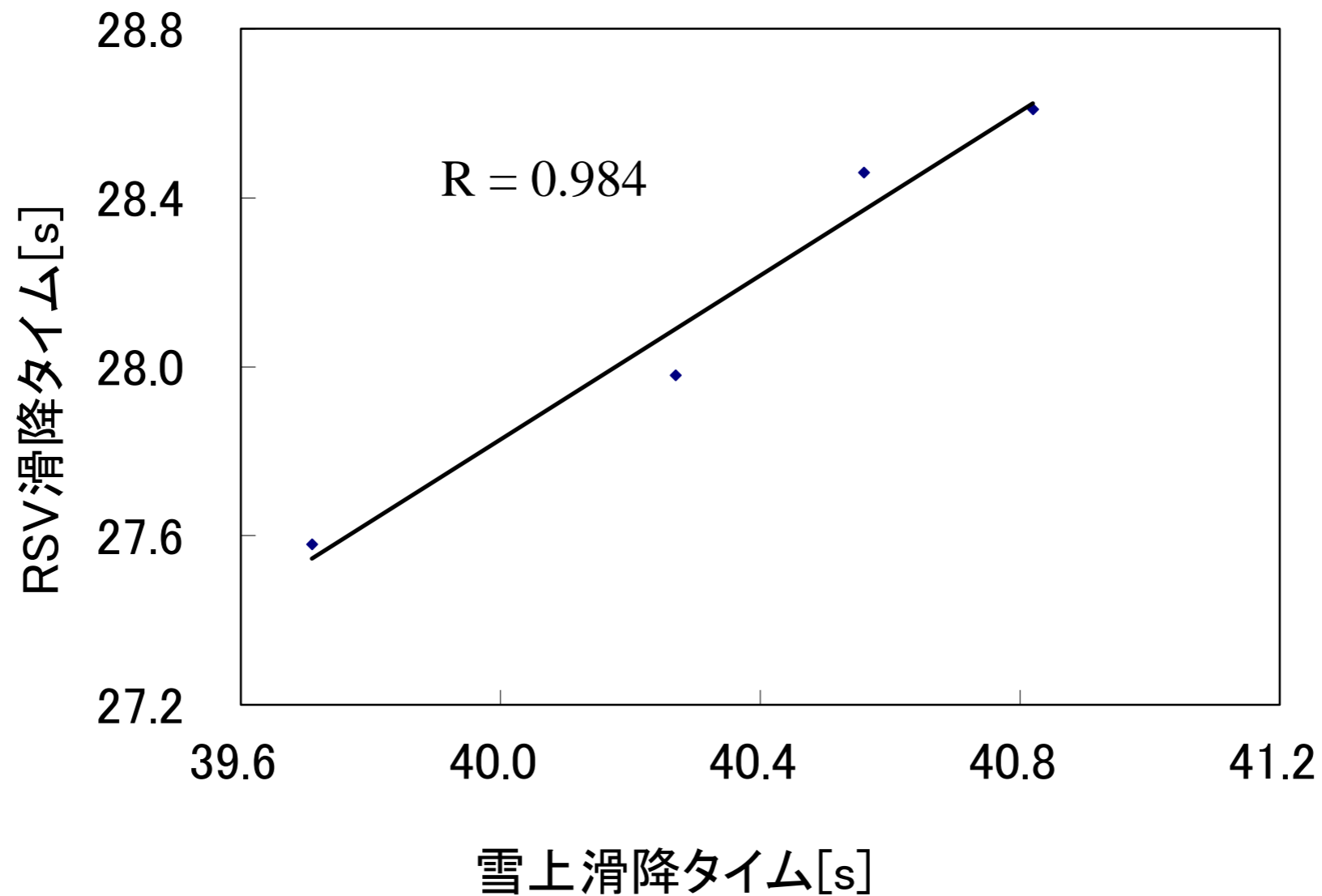


内傾角度が大きい被験者ほど
滑降タイムが早い



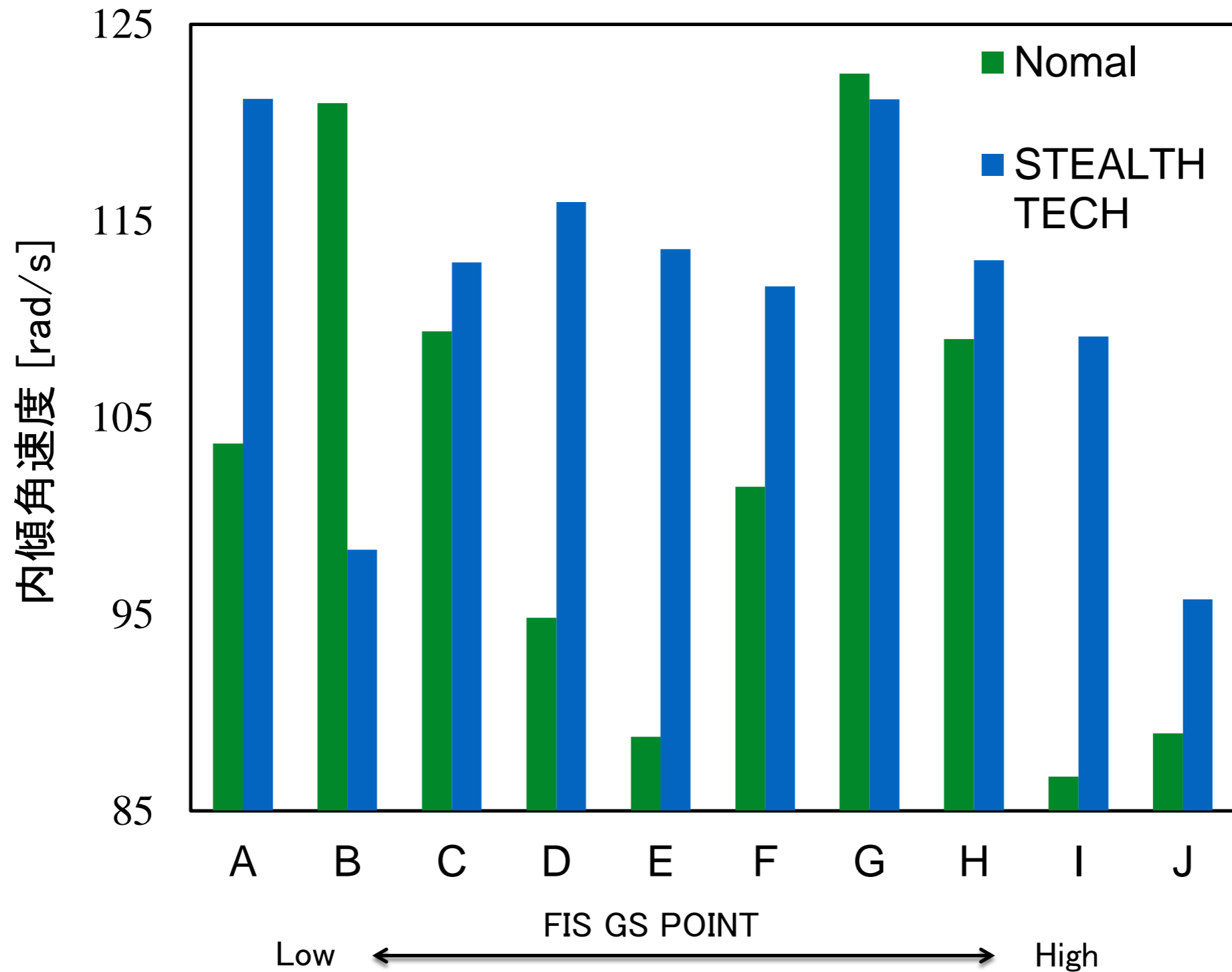
滑降タイム短縮には
内傾角度が重要

RSVタイムと雪上タイムの関係



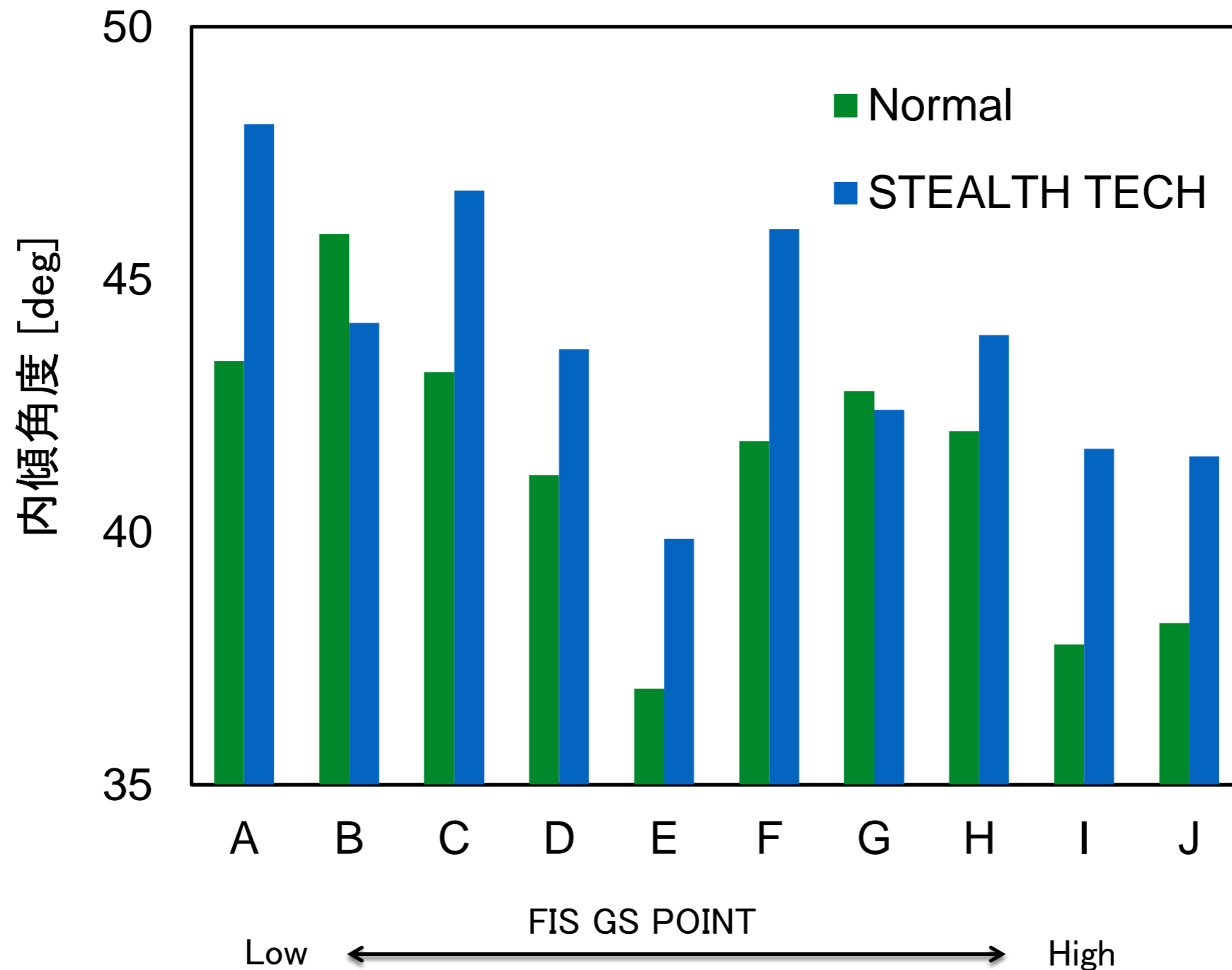
RSV滑降タイムと雪上滑降タイムには
強い相関が見られている

計測結果(内傾角速度)



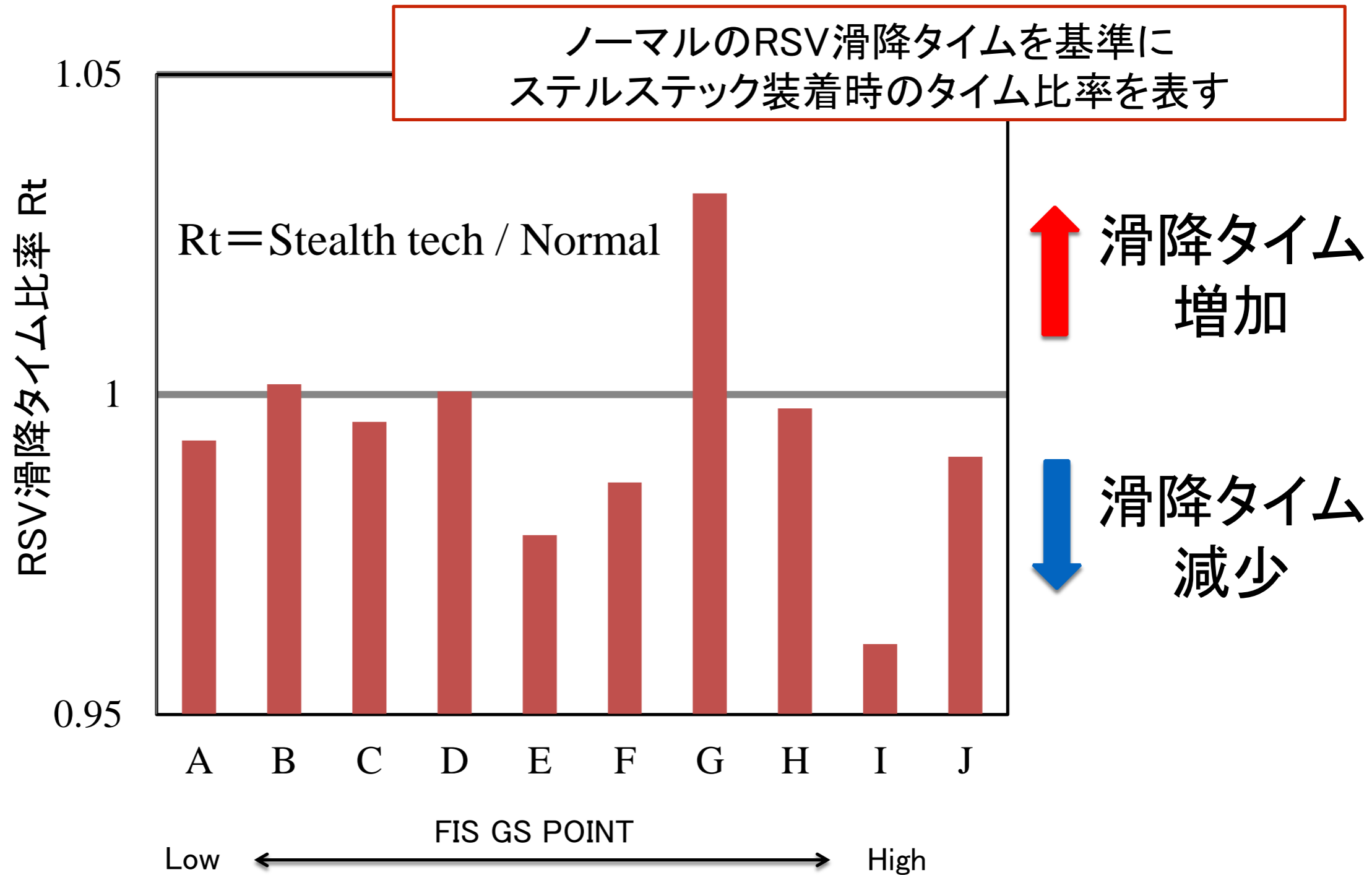
被験者10人中8人でステルスステック装着により
内傾角速度が向上

計測結果(内傾角度)



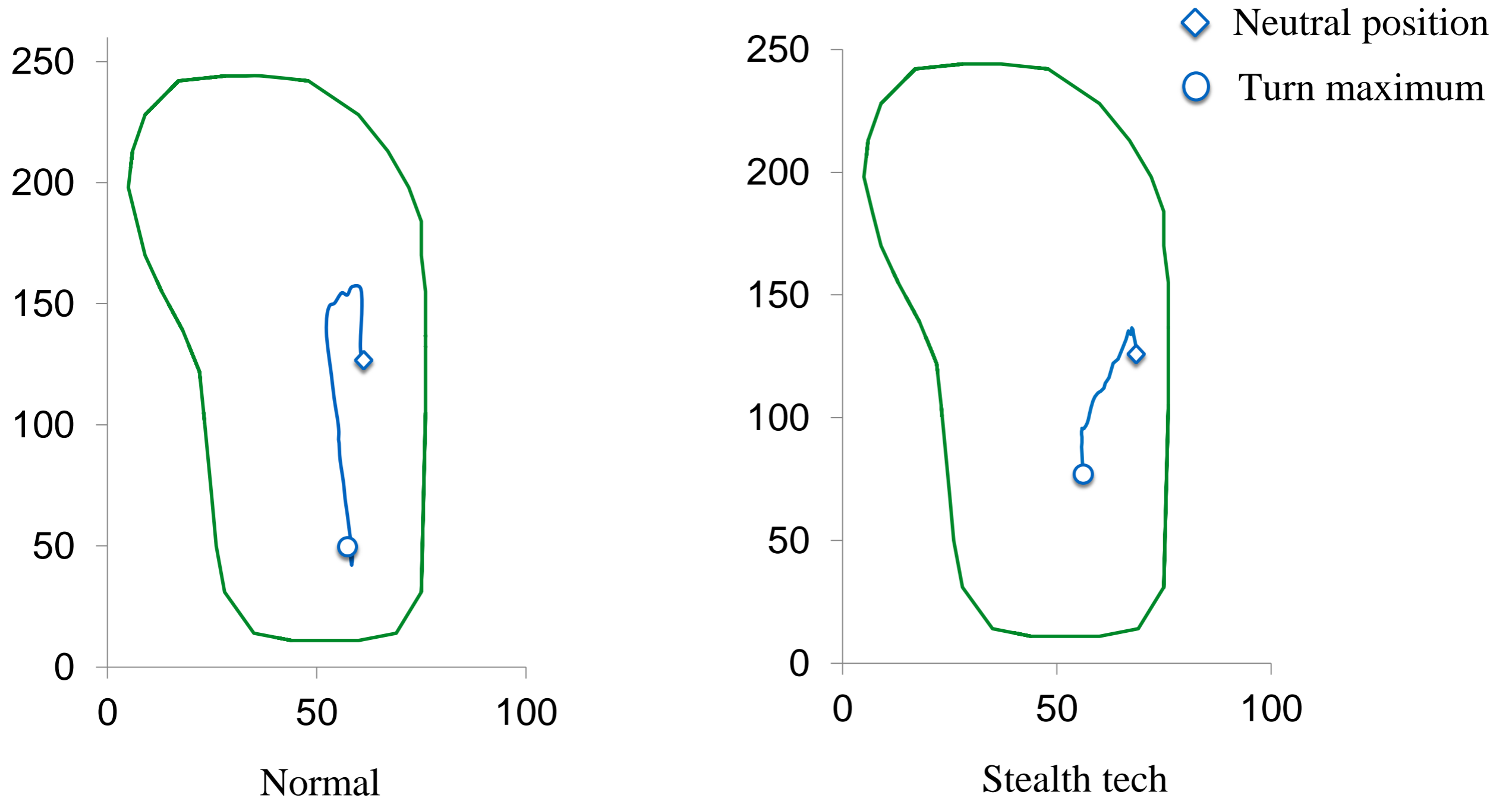
被験者10人中8人でステルステック装着により
内傾角度が向上

計測結果 (RSV滑降タイム変化率)



被験者10人中8人でステルステック装着により
滑降タイムが短縮

計測結果(ターン中の荷重移動軌跡)



ステルステック装着により
前後の移動量が減少